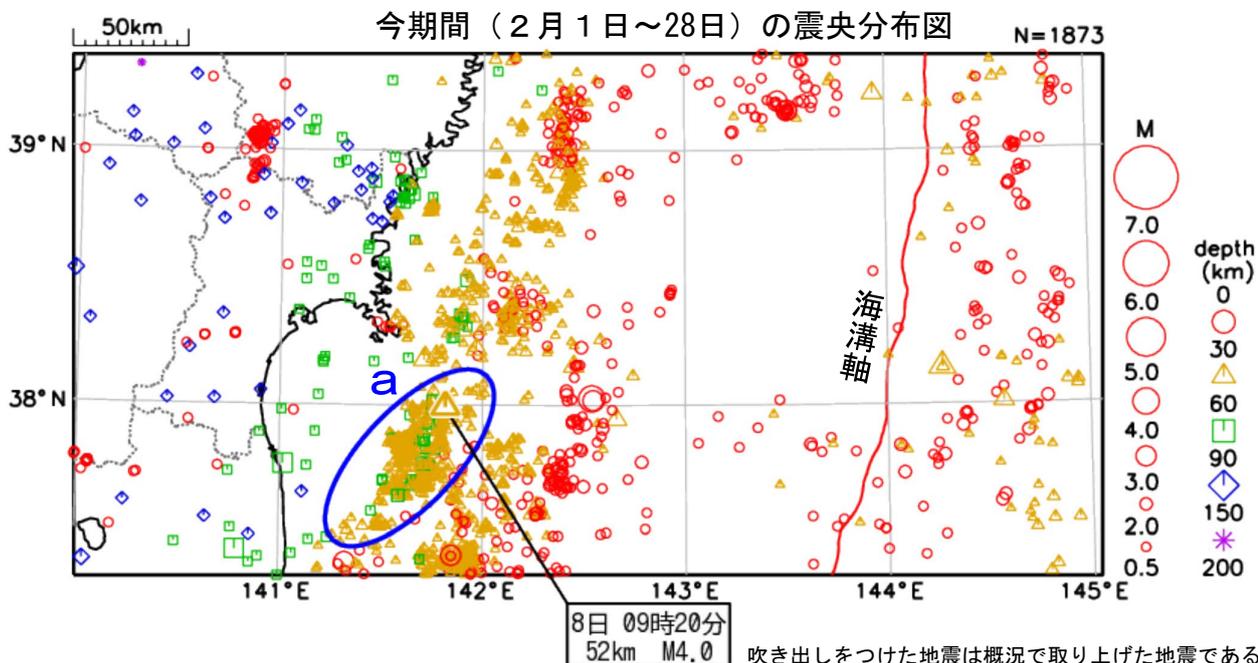


# 宮城県月間地震概況

## 2026年 2月

仙台管区気象台



### [概況]

今期間、宮城県内で震度1以上を観測した地震は13回（1月：17回）であった。このうち、宮城県内で震度3以上を観測した地震は0回であった（1月：1回）。

今期間、宮城県周辺で目立った地震活動はなかった。

領域 a では、2021年2月13日のM7.3の地震（蔵王町で震度6強）及び2022年3月16日のM7.4の地震（登米市及び蔵王町で震度6強）以降、地震活動が活発な状態が継続しており、今期間震度1以上を観測する地震が3回（震度2：1回、震度1：2回）発生した。このうち最も規模の大きい地震は8日09時20分に発生したM4.0の地震（深さ52km）で、大崎市で震度2を観測した。 [震度分布（気象庁HP）](#)



## 宮城県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2026年2月1日～2026年2月28日

発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2026年02月03日06時58分	福島県沖	37° 35.0' N	142° 16.0' E	33km	M4.5
宮城県	震度 2 : 石巻市桃生町*				
	震度 1 : 涌谷町新町裏 栗原市築館* 登米市中田町 登米市豊里町* 登米市南方町* 大崎市古川三日町 大崎市鹿島台* 名取市増田* 角田市角田* 岩沼市桜* 蔵王町円田* 亶理町悠里* 石巻市大街道南* 石巻市北上町* 石巻市相野谷* 石巻市雄勝町*				
2026年02月03日18時03分	茨城県沖	36° 43.7' N	140° 57.3' E	51km	M4.8
宮城県	震度 1 : 角田市角田* 岩沼市桜* 柴田町船岡 丸森町鳥屋* 山元町浅生原*				
2026年02月04日17時27分	福島県沖	37° 45.7' N	141° 36.1' E	56km	M3.7
宮城県	震度 1 : 角田市角田*				
2026年02月07日01時55分	福島県沖	37° 08.8' N	141° 10.9' E	18km	M4.3
宮城県	震度 1 : 涌谷町新町裏 大崎市田尻*				
2026年02月08日09時20分	宮城県沖	37° 59.6' N	141° 49.0' E	52km	M4.0
宮城県	震度 2 : 大崎市古川旭*				
	震度 1 : 宮城加美町中新田* 涌谷町新町裏 栗原市栗駒 栗原市築館* 栗原市瀬峰* 栗原市志波姫* 栗原市高清水* 栗原市一迫* 登米市中田町 登米市東和町* 登米市南方町* 登米市米山町* 大崎市古川三日町 大崎市古川大崎 大崎市田尻* 名取市増田* 岩沼市桜* 蔵王町円田* 宮城川崎町前川* 亶理町悠里* 山元町浅生原* 仙台青葉区作並* 仙台宮城野区苦竹* 石巻市北上町* 石巻市桃生町* 松島町高城 大衡村大衡*				
2026年02月08日10時59分	茨城県沖	36° 19.8' N	141° 51.2' E	2km	M4.9
宮城県	震度 1 : 岩沼市桜* 蔵王町円田* 大河原町新南* 宮城川崎町前川* 丸森町鳥屋* 石巻市桃生町* 松島町高城				
2026年02月11日03時52分	関東東方沖	35° 35.5' N	143° 46.6' E	50km	M5.1
宮城県	震度 1 : 栗原市築館* 大崎市田尻* 角田市角田* 岩沼市桜* 蔵王町円田* 石巻市桃生町* 松島町高城				
2026年02月16日13時59分	岩手県沖	40° 07.9' N	142° 28.8' E	38km	M4.4
宮城県	震度 1 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市笹が陣* 気仙沼市唐桑町* 涌谷町新町裏 栗原市栗駒 登米市迫町* 石巻市桃生町*				
2026年02月19日07時40分	福島県沖	37° 18.6' N	141° 54.3' E	37km	M4.5
宮城県	震度 1 : 涌谷町新町裏 白石市亶理町* 仙台空港 名取市増田* 角田市角田* 岩沼市桜* 亶理町悠里* 山元町浅生原* 仙台青葉区大倉 仙台青葉区作並* 石巻市大街道南* 石巻市北上町* 石巻市桃生町*				
2026年02月20日23時16分	青森県東方沖	41° 30.5' N	142° 05.2' E	54km	M5.1
宮城県	震度 1 : 気仙沼市笹が陣*				
2026年02月22日12時36分	宮城県沖	38° 13.2' N	141° 58.1' E	44km	M3.8
宮城県	震度 1 : 石巻市泉町 石巻市鮎川浜* 石巻市北上町* 石巻市雄勝町*				
2026年02月24日13時26分	宮城県沖	38° 11.4' N	141° 46.2' E	58km	M3.7
宮城県	震度 2 : 大崎市鹿島台* 石巻市桃生町*				
	震度 1 : 宮城加美町中新田* 涌谷町新町裏 栗原市栗駒 宮城美里町北浦* 大崎市古川大崎 大崎市田尻* 白石市亶理町* 仙台空港 名取市増田* 岩沼市桜* 大河原町新南* 宮城川崎町前川* 亶理町悠里* 山元町浅生原* 仙台青葉区大倉 仙台青葉区作並*				

発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	各地の震度				
	仙台宮城野区苦竹* 仙台若林区遠見塚* 仙台泉区将監* 石巻市鮎川浜* 石巻市大街道南* 多賀城市中央* 東松島市小野* 松島町高城 七ヶ浜町東宮浜* 大郷町粕川* 大衡村大衡*				
2026年02月25日03時16分	岩手県沿岸北部	39° 33.3' N	142° 00.8' E	54km	M4.6
宮城県	震度 2 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市笹が陣* 気仙沼市唐桑町* 涌谷町新町裏 栗原市栗駒 栗原市志波姫* 栗原市若柳* 栗原市一迫* 登米市中田町 登米市東和町* 登米市豊里町* 登米市南方町* 登米市迫町* 登米市米山町* 大崎市鹿島台* 大崎市田尻* 石巻市桃生町*				
	震度 1 : 気仙沼市本吉町西川内 気仙沼市本吉町津谷* 宮城加美町中新田* 色麻町四竈* 栗原市築館* 栗原市鶯沢* 栗原市花山* 栗原市瀬峰* 栗原市高清水* 栗原市金成* 登米市登米町* 登米市石越町* 登米市津山町* 南三陸町志津川 南三陸町歌津* 宮城美里町北浦* 宮城美里町木間塚* 大崎市古川三日町 大崎市古川大崎 大崎市鳴子* 大崎市古川旭* 大崎市松山* 名取市増田* 岩沼市桜* 亘理町悠里* 仙台青葉区大倉 仙台青葉区作並* 仙台宮城野区苦竹* 石巻市泉町 石巻市大街道南* 石巻市北上町* 石巻市相野谷* 石巻市前谷地* 石巻市雄勝町* 東松島市小野* 東松島市矢本* 松島町高城 大衡村大衡*				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査の後、変更することがある。

各地の震度は宮城県のみを示し、\*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

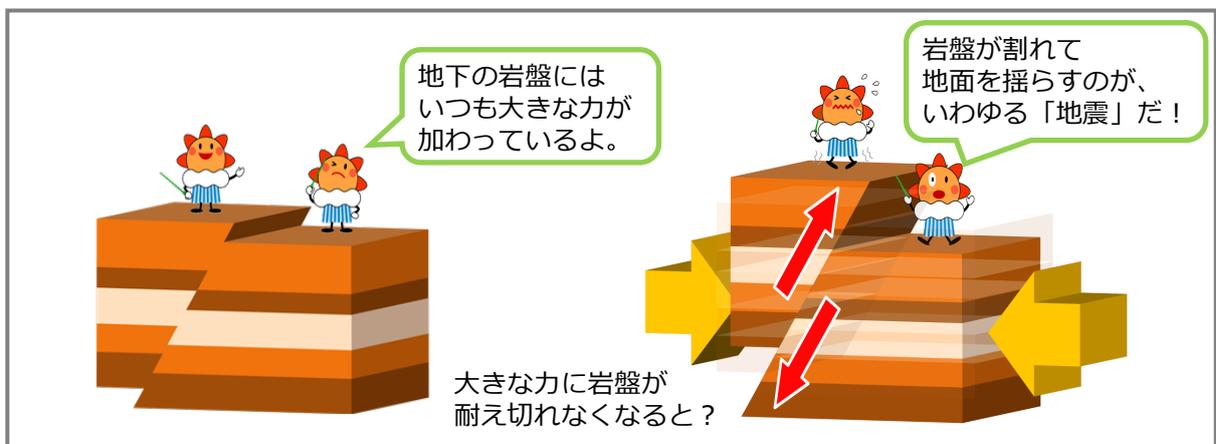
# 震度に関するQ & A

気象台には地震について様々な質問が寄せられます。その中でも、特に多くの質問が寄せられる「震度」に関する質問について、その代表的な例をQ & A形式で解説します。

**Q. 震度とマグニチュードは何が違うのですか？**

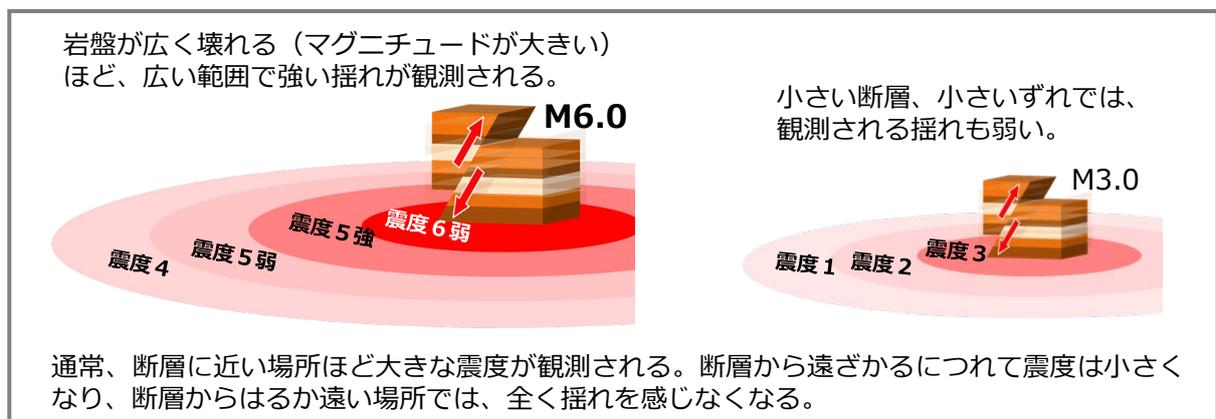
**A. 震度は「揺れの強さ」を示す指標、マグニチュードは「地震の規模」を示す数値です。**

地球の表面はプレートと呼ばれるいくつもの大きな岩盤に覆われています。この岩盤には大きな力が加わっていて、その力に耐えきれずに岩盤の一部が割れてずれ動くことで地震が発生します（下図参照）。このときにずれ動いた場所を断層と呼びます。



マグニチュードは地震の規模を表す指標で、マグニチュードが大きな地震ほど、断層の大きさやズレが大きくなります。

震度は、その場所での揺れの強さを表す指標です。一般的に、震源に近い場所ほど、あるいはマグニチュードが大きいほど、観測される震度は大きくなります（下図参照）。



Q. 揺れを感じたが、震度情報が発表されなかった。感じた揺れは気のせいでしょうか？

A. ごく局所的な揺れのために、震度観測点では揺れを観測していない可能性があります。必ずしも「気のせい」とは限りません。

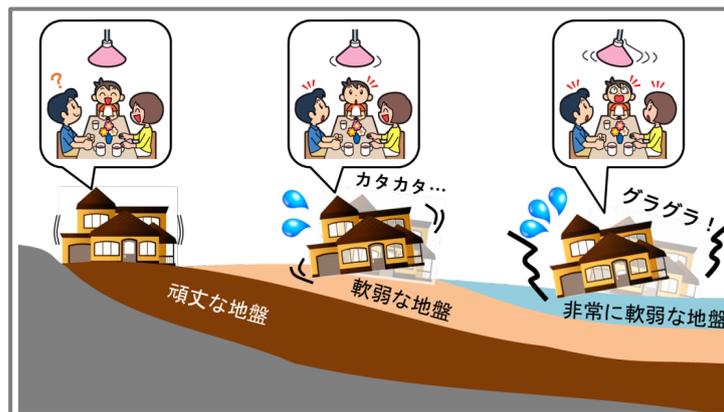
宮城県内には、2026年3月現在、87の震度観測点が、県内全ての市町村に1つ以上となるように配置されています。それでも、内陸のごく浅い場所で規模の小さな地震が発生すると、震央周辺のごく狭い範囲でしか揺れを感じないため、その範囲に震度観測点がない場合、地震が発生していたとしても、気象庁から情報は発表されません（下図参照）。



Q. 気象庁が発表する震度に比べて、我が家の周りにはいつも揺れが強い気がするのですが…

A. お住まいの場所の地盤によっては、地震の揺れが強くなる場合があります。

地震による揺れの強さは、その場所の地盤によっても変わります。地盤が軟弱な場所は、地盤が頑丈な場所に比べて揺れやすくなる傾向にあります（下図参照）。近い場所であっても地盤の強弱は異なる場合があるため、同じ町内でも場所によって震度が1階級程度異なる場合があります。特に、震度観測点から離れた場所にお住まいの場合や、場所が近くても、震度観測点の地盤とお住いの場所の地盤が大きく異なる場合、気象庁が発表した震度と実際の体感とが異なる場合があります。



そのほか、地震の揺れの周期が長い場合、高層ビルの高層階では、低層階に比べて強い揺れに見舞われることがあります。また、建物の特性によっては、同じ建物内でも住んでいる階や場所によって揺れの強さが異なる場合もあります。

気象庁ホームページでは、このほかにも様々な質問にお答えしています。地震以外にも、様々な項目がありますので、気になる方は、気象庁ホームページをご覧ください。

『よくある質問集』 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/faq/index.html>

『震度について』 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/shindo/index.html>